

京都大学医学部附属病院 病院研修生プログラム

京都大学医学部附属病院は次の研修プログラムによる病院研修生を募集します。

1. プログラムの名称

微生物検査基本技術研修Ⅱ（ミドルコース）

2. 診療部名

検査部

3. 研修コース名：目的、特色、特徴

卒後コース：1週間通して実習を行うことにより、初心者や経験が少ない技師にとっても微生物検査の一連の流れを具体的に把握できるように設定している。当施設は、日本臨床微生物学会から認定を受けた研修施設であり、認定臨床微生物検査技師などの資格取得を目的とした研修も設定している。

4. 研修プログラムの内容

別紙（研修日程表）のとおり

5. 受講対象者

臨床検査技師免許を有する者。病院、企業、検査センター等に勤務する臨床検査技師。認定臨床微生物検査技師などの専門的な資格取得を目的とする臨床検査技師。

6. 募集人数

年間2名（定員1）

7. 研修期間

1週間（5日間）

8. 研修時期

研修部門との調整が必要ですので、別途相談

9. 応募期間

任意時期に受入れ可能

10. 実習（研修）料

基本2,160円/日（10,800円/人税込）

11. 申請書類

病院研修生受入れ申請書（別紙様式）

（履歴書、健康診断書及び免許証のコピーを添付）

12. 出願書類提出先・問い合わせ先

<提出先>

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-4

京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 宛

<問い合わせ先>

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-4

京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター

TEL：075-751-4839

FAX：075-751-3091

研修日程表

プログラム名称：微生物検査基本技術研修 II ミドルコース（検査部）

教育研修期間	一週間（5日間）
1、臨床微生物学総論 （実習講義）	感染症に関する基礎的教育、検査材料の採取および取り扱い 塗抹・染色・鏡検技術の習得
2、検査室マネジメント （実習講義）	精度管理手法、医療廃棄物の取り扱い、業務感染、 リスクマネジメント
3、病院感染防止対策 （実習講義）	感染防止マニュアルの考え方と作製 病院感染防止対策のための微生物検査 病院感染サーベイランス 環境整備・消毒法・滅菌法
4、検査室技術の習得 （実習講義）	起因菌の考え方 検査材料の前処理法および迅速検査法 塗抹鏡検による検査診断技術、微生物の分類と同定手順 用手法および自動化検査法による同定検査技術 免疫学的、分子生物学（遺伝子学）的診断技術 抗酸菌鏡検・分離培養検査、抗酸菌迅速検査法
5、抗菌薬感受性検査 （実習講義）	抗菌薬の知識、薬剤耐性機序、抗菌薬選択、抗菌薬療法、 抗菌薬感受性検査法、耐性菌の理解と検出法、 抗酸菌感受性検査、精度管理
6、真菌・ウイルス検査 （実習講義）	起因微生物に関する知識の習得、標本作製法、真菌鏡検法、真菌分離培養 同定検査法、真菌抗原検査法、検査室診断法 ウイルス検査法
7、寄生虫・原虫検査 （実習講義）	寄生虫・原虫感染症の基礎的理解、寄生部位、 検体の取り扱い、標本作成技術、鏡検技術、免疫学的検査法

担当診療科

担当者氏名

検査部門（微生物）

： 松村 康史、樋口 武史